

2015年9月7日

企画展「企業の原点を探る」シリーズ

ワタクシ サ オオヤケ ツ
私ヲ去リ、公ニ就ク
—渋沢栄一と銀行業—

2015年10月3日(土)～11月29日(日)



近代日本社会の「明けの明星」となる！

報道関係各位

公益財団法人 渋沢栄一記念財団 渋沢史料館

渋沢史料館（〒114-0024 東京都北区西ヶ原 2-16-1・飛鳥山公園内）では、10月3日より企画展（企業の原点を探るシリーズ）「私ヲ去リ、公ニ就ク—渋沢栄一と銀行業—」を開催いたします。

幕末にパリ万博幕府使節に随行し渡欧した渋沢栄一は、銀行を設立し、外国と取引するためにも合本組織をつくり、資金を集め、社会全体に金融をはかるべきと考えます。

明治新政府に出仕した栄一は、近代的な金融制度確立の軸となる「国立銀行条例」の制定に尽力します。この条例にもとづいて、明治6年(1873)に創設された日本初の近代的な銀行が、第一国立銀行（現・みずほ銀行）です。栄一は、同銀行の総監役（後、頭取）に就任し、このモデル銀行の育成に努めるとともに、後につづく多くの銀行の設立や育成にも尽力しました。

本展では、第一国立銀行創業期を中心に、さまざまな困難に直面しながら同行の育成に努めた栄一の活動や、現在へと受け継がれる栄一の銀行業に対する思いを紹介します。

■会期 : 2015年10月3日(土)～11月29日(日)

■会期中の休館日 : 10月12日(月・祝)、11月23日(月・祝)を除く毎月曜日、10月13日(火)、11月4日(水)・24日(火)

■無料入館日 : 10月3日(土)・4日(日)、11月8日(日)

■会場・時間 : 渋沢史料館 企画展示室 10時～17時 ※最終入館は16時30分まで

■入館料 : 大人300円 / 学生(小中高生)100円 ※その他、各種割引有

■主催 : 渋沢史料館 / 後援 : 株式会社みずほフィナンシャルグループ

■関連シンポジウム :

1. 「長岡地域の先人に学ぶ地方創生のありかた」10月26日(月)(新潟)
2. 「企業の原点を探る—渋沢栄一と第一国立銀行」11月21日(土)(東京)
3. 「今、金融に期待すること—渋沢栄一の精神を生かして」11月27日(金)(東京)

■公式ホームページ : <http://www.shibusawa.or.jp/museum/>

■公式 Facebook ページ : <https://www.facebook.com/ShibusawaEiichiMemorialFoundation>

み
ど

- 株式会社みずほ銀行所蔵資料をはじめとする、日本初の近代的な銀行・第一国立銀行創業期の貴重な資料を展示
- 渋沢栄一が、銀行制度づくりに取り組んだ経緯と、銀行業を日本に広め、根付かせようとした思いを紹介。

2015年9月7日

【展示構成（予定）】

- 序章 「江戸時代」の金融をいかに育てるか
第1章 銀行制度づくり
第2章 モデル銀行を創る
第3章 開業と危機の克服—栄一と銀行の人々—
終章 銀行によって公益を興す

【主な展示資料（予定）】

- ・ 渋沢栄一肖像写真 明治前期頃 渋沢史料館所蔵
- ・ 第一国立銀行創立証書 明治6年(1873)6月11日 株式会社みずほ銀行所蔵
- ・ 大日本東京第一国立銀行株敷券状 第壹番
明治6年(1873)11月11日 第一国立銀行頭取 三井八郎右衛門他2名 株式会社みずほ銀行所蔵
- ・ 第一国立銀行本店正面鬼瓦 株式会社みずほ銀行所蔵
- ・ 渋沢栄一書 対幅「耐而約成事妙訣」「勤与儉良図創業」
明治9年(1876)3月26日 渋沢史料館所蔵
- ・ 渋沢栄一使用の執務机、脇机、椅子（第一銀行相談役室） 渋沢史料館所蔵

関連

- ◆関連シンポジウム 主催 公益財団法人渋沢栄一記念財団
後援 株式会社みずほフィナンシャルグループ

第1回 長岡地域の先人に学ぶ地方創生のありかた

- 日時 2015年10月26日(月) 18時30分～21時
会場 アオーレ長岡 市民交流ホールA（新潟県長岡市大手通1-4-10）
定員 200名（事前申込・先着順）
参加費 無料
パネリスト 藻谷浩介（株式会社日本総合研究所主席研究員）
平松廣司（かながわ信用金庫理事長、横須賀商工会議所会頭）
中村公哉（長岡商工会議所青年部理事）
司会兼討論者 松本和明（長岡大学教授）

第2回 企業の原点を探る—渋沢栄一と第一国立銀行

- 日時 2015年11月21日(土) 13時30分～16時30分
会場 北区飛鳥山博物館講堂（東京都北区王子1-1-3）
定員 90名（事前申込・先着順）
参加費 無料
パネリスト 小林延人（秀明大学講師）
桑原功一（渋沢史料館副館長）
須藤 功（明治大学教授）
司会兼討論者 粕谷 誠（東京大学教授）

PRESS RELEASE

2015年9月7日

第3回 今、金融に期待すること—渋沢栄一の精神を生かして

日時 2015年11月27日(金) 18時30分～21時
会場 日経カンファレンスルーム (東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル6F)
定員 170名 (事前申込・先着順)
参加費 無料
パネリスト 寺西重郎 (一橋大学名誉教授、日本大学客員教授)
翁 百合 (株式会社日本総合研究所副理事長)
塚本隆史 (みずほフィナンシャルグループ常任顧問)
司会 粕谷 誠 (東京大学教授)

申込/問合せ先: 渋沢史料館「シンポジウム係」

A、Bいずれかの方法でお申込み下さい。

A) 渋沢史料館ウェブサイト内、企画展情報ページの申込みフォーム。

B) 往復はがきに〔1〕参加希望回〔2〕郵便番号〔3〕住所〔4〕氏名(ふりがな)〔5〕電話番号をご記入の上、「シンポジウム係」まで。1枚につき、1回分、2名まで応募可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記のこと。

◆担当学芸員によるギャラリートーク

日時 2015年10月18日(日)、11月8日(日)
*両日共、11時10分～11時40分 / 14時10分～14時40分
会場 渋沢史料館企画展示室
*事前申込不要、参加費無料、11月8日(日)のみ入館無料

記事掲載のお願い

以下の資料をご用意しております（画像は300KB位の小さなものをご用意する予定です）。
掲載を希望される場合は、下記までお電話を頂くか、次ページの掲載申請書に必要事項をご記入の上
ファックスでお申込ください。

① 渋沢栄一 明治前期頃
（渋沢史料館所蔵）



② 東京府下自漫競 海運橋銀行
明治7年（渋沢史料館所蔵）



③ 渋沢栄一書 対幅
明治9年（渋沢史料館所蔵）



④ 東京名所 海運橋五階造真図 明治6年（渋沢史料館所蔵）



⑤ 第一国立銀行本店正面鬼瓦
（みずほ銀行所蔵）



⑥ 第一国立銀行（渋沢史料館所蔵）



⑦ 大日本東京第一国立銀行株数券状 第壹番
明治6年（みずほ銀行所蔵）



広報用画像データ使用申込書

公益財団法人 渋沢栄一記念財団 広報担当行

FAX:03-5567-7289

■ご掲載にあたってのお願い

- ・画像データの提供は、本展をご紹介いただける場合のみとさせていただきます。
- ・画像データは、メール添付にてお渡しします。ご利用後は画像データの破棄をお願いします。
- ・写真はトリミングせず、全図でご使用ください。また、文字を重ねるのはご遠慮ください。
- ・資料キャプションと①～④及び⑥は「渋沢史料館所蔵」、⑤と⑦は「みずほ銀行所蔵」のクレジットを明記してください。
- ・基本情報の確認のため、入稿前の校正原稿をお送りください。
- ・掲載後の見本誌（紙）、DVD等の見本を2部ご送付くださいますよう、お願い致します。

申込日 年 月 日 ()

貴社名

ご担当者様名

ご連絡先 TEL

FAX

E-mail

@

掲載（放映）媒体名

発行（放映）予定日

発行部数

定価

掲載（放映）予定コーナー名

画像の掲載サイズ

企画展「企業の原点を探る」シリーズ 私ヲ去り、公ニ就クー渋沢栄一と銀行業ー

<報道用写真> ご希望の番号に○をつけてください。

- ① 渋沢栄一 明治前期頃（渋沢史料館所蔵）
- ② 東京府下自漫競 海運橋銀行 二代歌川国輝画 明治7年(1874)（渋沢史料館所蔵）
- ③ 渋沢栄一書 対幅「耐而約成事妙訣」「勤与儉良図創業」
明治9年（1876）3月26日（渋沢史料館所蔵）
- ④ 東京名所 海運橋五階造真図 二代歌川国輝画 明治6年(1873)（渋沢史料館所蔵）
- ⑤ 第一国立銀行本店正面鬼瓦（みずほ銀行所蔵）
- ⑥ 第一国立銀行（渋沢史料館所蔵）
- ⑦ 大日本東京第一国立銀行株敷券状 第壹番 明治6年(1873)11月11日（みずほ銀行所蔵）

【本件のお問合せ・取材申込み】 副館長：桑原 / 広報：星野 Tel・03-3910-0005 Fax・03-5567-7289